

のた市議会 だより

Noda City
Council News

第166号

令和7年5月1日発行

3月定例会

特集 令和7年度予算のあらまし

目次

特集:令和7年度予算のあらまし	P.2
常任委員会	P.4
主要事業ピックアップ	P.6
市制施行75周年記念事業	P.8
一般質問	P.9
審議結果	P.15
お知らせ	P.16

～討論では令和7年度予算について様々な意見が出されました～



賛成の討論

- 財政調整基金の取り崩しを最小限に抑えた予算編成となっている。
- 財政の健全性に配慮していることを評価する。
- 書かない窓口への対応に向けた申請書自動作成支援システム導入経費が計上されているなど、市民の利便性向上が図られていることを評価する。
- 介護人材確保対策が図られていることを評価する。
- 若者や子育て世代も含めた幅広い世代の健康増進や積極的な健康管理が期待される。
- 有機農業の推進を期待するとともに、竹材を使ってより良質な堆肥を作成するなどの新しい機能を持たせた堆肥センターの導入を要望する。
- 豊かな自然環境を守り、子供たちに引き継いでいこうとしていることを評価する。
- 地域防災力及び災害対応力の向上が図られており評価する。
- 市制施行75周年記念事業に係る予算が計上されており、将来の100周年に向けた事業展開にも期待する。
- 自治体DXについても、市民の利便性と職員の働き方改革や風通しの良い組織づくりにつながる更なる取組を期待する。
- 水道及び下水道設備の更新や災害対策など、適切な予算措置がされていると評価する。



反対の討論

- 社会福祉施設などが次々と指定管理化・委託化される方向性には賛成できない。
- 正規職員の削減が目立つが、市民に責任をもって対応できるよう、正規職員の拡充を求める。
- 市全体の道路状況からすると、道路維持管理費が圧倒的に不足している。
- 国保料引き上げは市民の負担増となるため反対である。
- 本市は高齢化が進んでいるため、地域での介護体制の充実とともに、年金で入れる、暮らせる特別養護老人ホームの増設が課題である。

特集 令和7年度予算のあらまし

6会計
総額

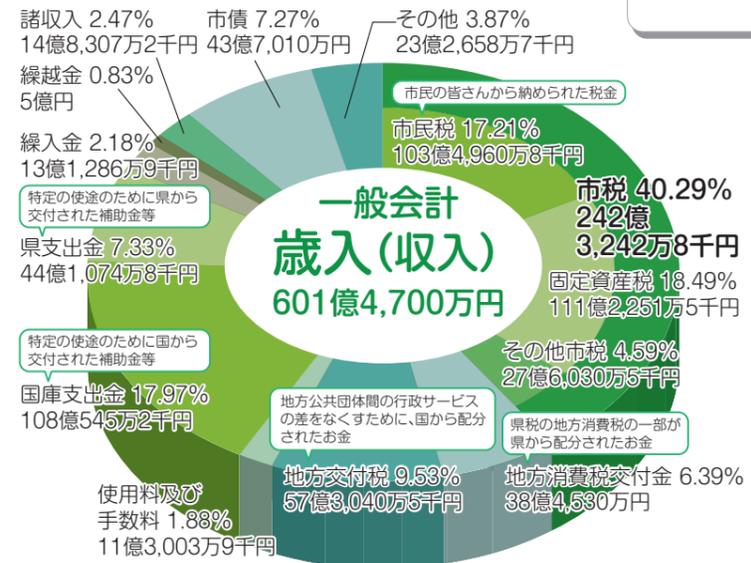
1,036億1,093万円1千円



令和7年度各会計予算の審査に当たっては、8人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、3月13日、14日及び17日の3日間にわたり慎重に審査しました。

令和7年度予算審査特別委員会

委員長	竹内 美穂	
副委員長	木村 欽一	
委員	古矢 千晴	小林 裕子
	深井 和幸	川崎 貴志
	谷口 早苗	星野 幸治



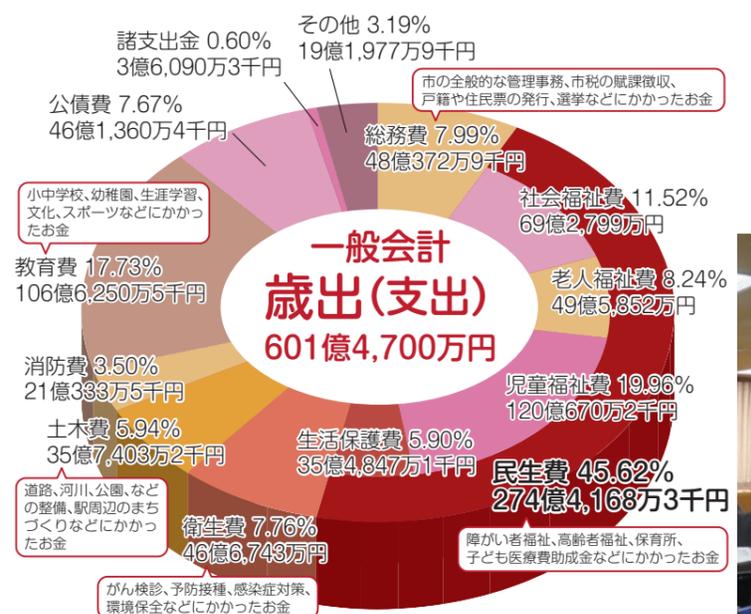
令和7年度各会計予算の規模

区分	予算額(万円)	対前年度増減率
一般会計	6,014,700	12.3%
特別会計		
国民健康保険	1,633,000	△ 2.4%
介護保険	1,344,600	3.6%
後期高齢者医療	266,200	3.9%
小計	3,243,800	0.5%
水道事業会計	466,937	△ 10.9%
下水道事業会計	635,656	1.4%
合計	10,361,093	6.4%

※各グラフ・表中の合計額や増減額、増減率などは千円単位で計算しているため、表記されている万円単位で計算したものと一致しない場合があります。

予算審査特別委員会について

予算の審査は、本会議の議決により特別委員会を設け審査しています。審査方法は、会計ごとに質疑を行い、終了後、討論を経て採決を行います。



レポート

常任委員会



野田市議会では、「総務」「環境経済」「文教福祉」「建設」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する議案等を審査しています。

総務
行政組織及び各部の
所管事務が見直されました

■行政組織条例の一部改正

新たに生じる行政課題に迅速かつ的確に対応するため、組織体制の整備が行われました。災害時における市の指揮命令系統をより明確にし、迅速かつ円滑に災害対応を行うために危機管理部が新設されました。また、地域交通に係る施策をスピード感を持って推進するために交通政策室が新設されました。変更点については下表をご覧ください。

部・室の名称	所管事務
企画財政部	広報広聴及び市民相談に関すること。 ファンリディマネジメントに基づく公共施設の適正な維持管理に関すること。
危機管理部	防災その他の危機管理に関すること。
自然経済推進部	観光に関すること。
P R推進室	魅力発信に関すること。
市政推進室	市政に関する重要施策の推進に関すること。
交通政策室	地域交通の推進に関すること。
秘書室	秘書に関すること。

総務
一般職の職員の
給与が見直されました

■一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

令和7年度分の人事院勧告への対応として、職務や職責をより重視した給与体系が整備されました。

扶養手当については配偶者に係る手当を廃止し、子に係る手当が増額されました。地域手当は、近隣市との均衡を考慮し6%から8%に引き上げられました。さらに、管理職を志す職員のモチベーションの向上を図るため、9級制が導入されました。

環境経済
国民健康保険料が
引き上げられました

■国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険条例の保険料率に係る規定が改定され、国民健康保険料のうち、被保険者の人数に応じて負担する医療分の均等割額及び世帯ごとに負担する医療分の平等割額が引き上げられました（改定額は左図のとおり）。委員からは、標準保険料率との乖離が解消される時期について質疑がありました。当局からは、国が令和15年度までに完全統一に移行することを目指すと示しているため、その時期を目標に、県が示す本市の標準保険料と市の保険料を近付けていく方針であると答弁がありました。そのほか、委員からは、保険料率が改定されることによる法定外繰入れへの影響などについて質疑がありました。

	改定前	改定後	差額	
医療分均等割	16,600円	21,900円	5,300円	
医療分平等割	特定世帯・ 特定継続世帯以外	24,600円	28,800円	4,200円
	特定世帯（※）	12,300円	14,400円	2,100円
	特定継続世帯	18,450円	21,600円	3,150円

※特定世帯
国保加入者が後期高齢者医療制度に移行したことにより、同一世帯の他の国保加入者が1人だけとなった世帯

市民等が安心して暮らせる地域社会を実現するための条例が制定されました

■犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復又は軽減並びに犯罪被害者等の生活再建の支援及び権利利益の保護を図り、もって市民等が安心して暮らせる地域社会を実現することを目的に、市犯罪被害者等支援条例が制定されました。

委員からは、市民の責務について質疑があり、当局から、犯罪被害者の方々が犯罪の後に、SNSでの中傷や近所でのうわさなどが原因でその場にいづらくなることもあるため市民の方々にも被害者の立場をご理解いただき、偏見などがなく平穏に暮らせるよう犯罪被害者等への正しい認識をもっていただきたいと答弁がありました。

また、市は犯罪被害者等が直面している様々な問題について相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整を行い、犯罪被害者等の心身の状況変化に応じた必要な支援を途切れることなく行うとともに犯罪被害者やその遺族に対し見舞金を支給することにについて答弁がありました。



こども誰でも通園制度に関する基準が整備されました

■乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

令和7年度以降も乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を実施するため、国基準を基に、本条例が制定されました。

条例では、設備運営基準の趣旨及び目的、乳児等通園支援事業所の設備、職員の基準などが規定されました。

委員からは、乳児等通園支援事業の対象者数について質疑があり、当局からは全体で1千14名であるとの答弁がありました。そのほか委員からは、こども誰でも通園制度試行的事業との関連性などについて質疑がありました。



魅力ある景観形成に取り組むための条例が制定されました

■景観条例の制定

市民・事業者・行政が協働して魅力ある景観形成に取り組むため、景観法及び景観計画に基づく手続等を規定した本条例が制定されました。

本条例は、景観形成に関する手段や考え方について、緩やかなルールを定め、協議及び誘導することにより、景観に対する意識を市民・事業者・行政が共有し、共に醸成していくことを主眼としたものです。

山崎梅台地区の整備が進められます

■地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

山崎梅台地区の地区整備計画に係る都市計画決定に伴い、関係規定が整備されました。

条例では、山崎梅台地区整備計画区域内の建築物の用途の制限、建蔽率・容積率の最高限度などが規定されました。

委員からは、条例改正による市民への影響等について質疑があり、当局から、建蔽率・容積率が緩和されることで建築行為が行いやすくなる。また、セットバックを推進することで、狭隘道路対策になるとの答弁がありました。

付託議案の詳細、審議内容、討論等は市議会ホームページをご覧ください。





主要事業

令和7年度予算 PICKUP

介護人材確保対策事業

予算額 980万

- 介護職員研修受講料等の費用の助成を行うとともに、介護職員合同就職相談会を開催
- 市独自に介護支援専門員等の研修費用等について全額助成金を交付
- 併せて処遇改善補助金を交付し、介護支援専門員等の雇用の確保及び定着を図る



給食センター整備事業

予算額 27億6,230万円

- 建設から50年以上経過し、老朽化が進んでいる学校給食センターを新築し、令和8年9月の稼働開始に向けて整備する



総合公園野球場改修事業

- 老朽化が進んでいるSAN-POWスタジアム野田(総合公園野球場)の改修工事を順次進めている
- 令和7年度はスポーツ振興くじ助成金を活用し、6年度に設計業務を実施したスコアボードのほか、内野やグラウンド内の側溝も改修する



SAN-POWスタジアム野田(総合公園野球場)

部活動指導員配置事業及び 部活動地域支援事業

予算額 400万円

- 中学校の部活動指導員を増員することで、部活動のさらなる充実を図る
- 地域人材を活用して学校・拠点校部活動(クラブ)を実施し、部活動の機会を確保する





有害鳥獣 わな捕獲通知システムの導入

- 今後も有害鳥獣の増加が懸念されることから、箱わなでイノシシ捕獲時に通知されるシステムを導入し、捕獲従事者の負担軽減を図り、効率的な捕獲を推進する



避難所体育館空調設備設置事業

- 各施設は指定避難所として防災拠点に位置付けられていることから、停電時においても自立運転が可能なガス式を採用
- 修繕等の工事や地域間のバランスを考慮し、令和7年度はトイレ改修工事を行う中学校5校において実施



母子健康手帳アプリの導入

予算額 60万円

- 母子健康手帳アプリを導入し、母子の積極的な健康管理の促進、妊娠・出産・育児期の継続的なサポートを図る
- 母子健康手帳に記載する内容の記録のほか、予防接種のスケジュール管理、子育て情報の通知、多言語翻訳等の機能が活用可能



健康・スポーツポイント事業

予算額 1,480万円

- 健康・スポーツポイント事業をはつらつポイント事業に名称変更するとともに、のだ健康・スポーツアプリを導入
- はつらつポイント又はのだ健康・スポーツアプリのどちらかを選択可能



▲詳しくはこちら
をご覧ください。



申請書自動作成支援システムの導入

予算額 1,030万円

- 市民課・支所・出張所に申請書自動作成支援システムを導入し、申請書記入の負担軽減や手続処理時間の短縮等を図る

元気で明るい家庭を築ける野田市を目指して

市制 75th 周年記念事業が実施されます

市制施行75周年という大きな節目を市全体でお祝いするとともに、個性豊かなまちづくりを行う人権・平和尊重都市宣言、そして健康スポーツ文化都市宣言の理念を尊重し、「夢のある住みよいまち」「元気で明るい家庭を築けるまち」を目指し、市民のみなさまとの一体感を醸成していくため、市制施行75周年記念事業が実施されます。

今定例会では、そのための予算を盛り込んだ令和7年度予算が可決されましたので、一部の事業を御紹介します。

記念式典

市制施行75周年という節目の年を迎えるに当たり、市制施行日の5月3日に野田ガスホール(文化会館)で記念式典が開催されます。

「戦後80周年と鈴木貫太郎」企画展等

市の偉人である終戦時内閣総理大臣の鈴木貫太郎翁の功績を多くの市民に知っていただくため、鈴木貫太郎翁の孫の鈴木道子氏を招き、「祖父・鈴木貫太郎孫娘が見た、終戦首相の素顔」の講演が開催されるとともに、映画「日本のいちばん長い日」が上映されます。

また、「最後の御前会議」の複製を作成し、市役所ふれあいギャラリーで終戦と鈴木貫太郎翁に係る資料の出張展示が行われます。

まめバスチョコQ製作販売事業

市制施行75周年を記念して、まめバスの利用促進を図るとともに、野田市への愛着心の醸成を図ることを目的に、まめバスのオリジナルチョコQが製作され、市役所や市内の店舗等で販売されます。

まめバス運行5周年を記念して平成21年に製作されたチョコQ。現在は販売終了▶



©TOMY
「チョコQ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

他の事業についてはこちらをご覧ください。▶



一般質問

市政を問う



3月定例会では16人の議員が一般質問に登壇しました。こちらでは質疑と答弁を抜粋し、要約したものを紹介します。

※QRコードから、8月31日まで一般質問の動画をご覧ください。9月1日以降は、議会ホームページの録画中継をご利用ください。

治水・利水について



政清会
木村 欽一

議員

議員



問

下水道施設の長寿命化対策及び水道施設の更新状況について伺う。

答

公共下水道については、市下水道ス
トックマネジメント計画書を策定し、
令和元年度から点検調査と修繕を実施してい
る。なお、本市の下水道管の総延長のうち、
耐用年数を超過したものは4%の約20キロメ
ートルで、異常は確認されていない。

また、大規模な改修が急がれる上花輪浄水
場については、上花輪浄水場再構築等建設事
業を計画し、3月中旬に契約するところであ
る。当計画では、10年度までに機械設備や電
気設備などの配水施設に耐震及び浸水対策を
講じた上で再構築工事を行い、その後、配水
池整備等に取り組みることとなっている。

なお、その他の上水道施設については、順
次耐震診断を実施し、耐震化計画を策定する
予定である。

他の質問

・基金等の状況等

本市の医療及び救急体制について



六諭会
川崎 貴志

議員

議員



問

野田総合病院の現在の医療体制及び今後の地域医療の方向性について伺う。

答

令和7年2月1日から医療法人徳洲
会が、専門外来である小児難聴言語外
来を含め、小張総合病院の診療科、診療体制
を引き継ぎ、支障なく病院運営を開始してい
る。

今後の方向性としては、7年度も6年度に
引き続き、市医師会並びに野田総合病院、キ
ッコーマン総合病院及び野田病院と市救急医
療体制確保に関する協定を締結すべく協議を
進めている。また、オンライン診療について
も、一定の効果が出ていることから、継続す
る予定となっている。さらに、新たに総合病
院の開設が予定されており、本市の地域医療
の向上と改善につながるものと期待している。

他の質問

・A1診断による上下水道の管路更新計画
・愛宕駅周辺の開発 ほか



公明党
桜田 康則
議員



新生児聴覚スクリーニング

検査について

問 受診率及び受診率向上に向けた取組について伺う。

答 当該検査は任意であるが、生まれたきの難聴を早期に発見し支援や治療を行うことが、赤ちゃんのコミュニケーションや言葉の発達に重要であるため、市が費用の一部を助成しているところである。受診率については、令和3年度が85.8%、4年度が92.5%、5年度が88.6%となっている。

また、当該検査は出産時の入院期間中に行うため、妊娠中から検査の必要性を伝えていく必要がある。そのため、母子健康手帳交付時に配布しているリーフレット「新生児聴覚検査をつけましょう」の説明を行いながら受診勧奨を行っている。今後も、妊娠中の支援などの機会を捉えて受診勧奨に努めたい。

他の質問

・Live119の利用



民主連合
古矢 千晴
議員



立地適正化計画について

問 現在策定中の本市全域を対象とした立地適正化計画の概要について伺う。

答 立地適正化計画は、人口減少や少子高齢化に対応し、生活サービス機能や住居等を計画的に誘導することで、コンパクトシティ・プラス・ネットワーク型のまちづくりを目指すものである。

本市においても、人口減少が進む中、生活サービスへのアクセスを確保しつつ市全域でコミュニティを持続できる計画としていく。なお、閑宿地域は公共交通と働く場に乏しく、人口減少が特に進んでいることから、地域の活性化に向けた取組が求められている。そのため、当該計画の策定と併せて、鈴木寛太郎記念館の再建と川の駅の整備を喫緊の課題として都市再生整備計画の作成を進めていく。

他の質問

・臨時運行許可（仮ナンバー）の管理等



のだみらい
庄司 真生
議員



イノシシ対策について

問 今後のイノシシ対策について伺う。

答 イノシシについては、市民からの目撃情報や猟友会の情報を基に、現在営業していると推測される地区において、くくりわなや箱わなを設置している。今後は、個体数の著しい増加を防ぐため、国の新しい地域経済・生活環境創生交付金を活用し、くくりわなや箱わなを増設し対策強化に努めたい。

また、猟友会の負担軽減を図るため、イノシシ捕獲時に登録したメールアドレス宛てにリアルタイムで通知するICT(※)機器を導入し運用する予定である。今後も、イノシシ対策をはじめとした鳥獣対策については、引き続き関係各所と連携し取り組んでいきたい。

※ICT Information and Communication Technologyの略で、情報通信技術。

他の質問

・千葉県知事選挙の投票率向上への取組



日本共産党野田市議団
星野 幸治 議員



市内公立小中学校における

教職員未配置問題について

問 教職員未配置の状況及び県への働きかけについて伺う。

答 令和6年度末の教職員未配置の状況の見込みは、小学校8校で10名、中学校5校で5名となっているが、代替講師の配置については、県教育委員会が任用を行っているため、今後も強く要望を続けていく。

要望に当たっては、講師が配置されやすくなるよう、講師が必要となる学校の情報を県教育委員会へ定期的に提供している。なお、要望するだけでなく、県教育委員会と連携して、講師の募集案内を市内小中学校の保護者へ配布している。そのほか、講師を直接募集する登録会の回数を増やすなどの取組を実施し、教職員の未配置解消に努めている。

他の質問

- ・ 地震災害時の避難所環境の整備
- ・ 防災教育の位置づけ等



市民ネットワーク
小室 美枝子 議員



マイナンバーカードの

電子証明書更新に係る対応について

問 電子証明書の有効期限が切れた際の不都合への対応について伺う。

答 電子証明書の有効期限が切れた場合は、e-tax等の電子申請やコンビニ交付サービス等を利用できなくなる。そのため、更新手続が完了するまではマイナンバーカードは使用しない対応をとっていただけことになる。

また、マイナ保険証については、有効期限の満了日が属する月の月末から3か月後の月末までは、保険証として利用できる。しかし、当該期間を過ぎた場合は、更新手続が必要となる。

なお、有効期限の満了日が属する月の月末から2か月を過ぎた場合は、職権で資格確認書を交付し、世帯主に送付している。

他の質問

- ・ 介護事業を継続していくための対応 ほか



野田の明日を考える会
金木 祐輔 議員



土曜授業について

問 令和7年度の土曜授業の回数や内容、今後の見通しについて伺う。

答 令和7年度の土曜授業の回数については、6年度と同様に、学校の実情に応じて年間実施回数を5回から8回までとする予定である。また、実施内容についても、6年度と同様に、土曜授業ならではの地域や保護者等に開かれた授業を教育課程内で行うことにより、児童生徒の活動を直接、地域や保護者の方々に見ていただき称賛される機会となるよう進めていく。

また、今後の見通しとしては、土曜授業アンケートの集計結果を分析した上で、7月頃をめどに検討委員会を開催し意見をいただく予定である。

他の質問

- ・ 県道境杉戸線バイパス開通に伴う関宿橋 東側サイクリングロードの安全対策



いちいの会
河井 哲弥
議員



上下水道管の

今後の老朽化対策について

問 県の緊急点検以降、市として何か対策を講じているか伺う。

答 下水道については、デジタル化された下水道台帳を基に、地区ごとに大口径管が埋設されている箇所と延長の洗い出しを行った。その結果、即時点検箇所は、1月30日と31日の2日間で点検を行い、要点検箇所は、職員による点検を順次実施している。今後、市下水道ストックマネジメント計画書を基に、計画的な点検調査と維持修繕を行いたい。

上水道については、導水管や送水管、重要給水管の緊急点検を1月30日に実施した。点検では異常は見られなかったが、今後も点検を継続したい。

また、基幹管路以外の水道管点検として、令和7年度まで漏水調査業務委託を行っている。さらに近年は、衛星画像を活用した漏水調査技術の開発も進んでいることから、情報収集に努めたい。



政清会
深井 和幸
議員



保護司制度への市の支援について

問 本市及び周辺市における保護司との協力状況について伺う。

答 更生保護は、国とボランティアとの協働体制で推進されており、保護司がその中心的役割を果たしていることを考えれば、国が活動環境を整備すべきである。しかし、保護司の面接場所の確保に当たっては、市の積極的な関与が必要と考え、公民館などを無償で提供している。

また、市民に向けた啓発活動として、市内の関係機関・団体が組織し、市長が委員長を務める「社会を明るくする運動」野田地区推進委員会による取組が行われている。

なお、後継者不足が大きな課題となっているため、職員研修の中で保護司について取り上げるなど、保護司制度や活動内容の周知を図りたい。

他の質問

- ・市職員が子育てしやすい職場環境づくり
- ・行旅死亡人の取扱い



六諭会
濱田 勇次
議員



新型コロナウイルス感染症

対応の検証について

問 検証や対応の記録を残し閲覧に供すること、また、関係者等と情報を共有し、将来に備えることへの見解について伺う。

答 市としても、これまでの新型コロナウイルスへの対応を検証し、将来の未知の感染症危機に備える必要があると考えている。

質問にあるような実施した施策を記録する冊子を作成する考えはないが、幅広い感染症危機に対応できるよう、令和7年度に市新型コロナウイルスエンザ等対策行動計画の見直しを行う予定であり、その中で、先述の課題も整理していく考えである。なお、見直しに当たっては、医師会や保健所などの関係団体が委員として参画する野田市保健医療問題審議会の意見をいただき、計画に反映させたい。

他の質問

- ・老朽化した太陽光パネルの取扱い



公明党
榎

博文
議員



東京2025デフリンピック大会について

問

周知広報活動やイベント開催の予定について伺う。

答

周知活動については、デフリンピック大会を契機に市民の関心を高めるため、市報や市ホームページなどを通じて本市ゆかりの選手を特集する。また、大会の歴史が古く、伝統ある大会であることや、デフリンピック競技特有の工夫などを紹介するほか、手話により動画の配信なども行う。

また、イベント開催の予定については、市制施行75周年記念事業として、本市ゆかりのデフアスリートを市内の小中学校に招き、講演やデモンストレーションを行う事業を予定している。これらを通じて、デフリンピック大会の認知度向上を図るとともに、障がいへの理解促進や共生社会の実現に向け、取り組みたい。

他の質問

・国の新総合防災情報システム（SOBO-WEB）の活用



民主連合
小椋

直樹
議員



江戸川第一終末処理場の早期整備に関する要望活動について

問

要望活動の内容と知事の回答内容について伺う。

答

本市は、一級河川の江戸川とその流域に属しており、令和7年1月の要望活動は、流域関連市8市長と知事が面会し実施されたものである。

江戸川第一終末処理場の水処理施設は8系列計画されており、現在は、第1系列の供用が開始されているが、下水道普及率100%を達成するためには、残る7系列の早期完成が必要である。そのため、知事には、整備に必要な予算の確保や将来汚水量に応じた段階的かつ計画的な整備の着実な推進を要望した。要望に対し知事からは、第2系列の完成を待たず第3系列の整備を前倒しで進め、早期の下水道普及率100%を目指して協力していくとの力強い言葉をいただいた。

他の質問

・小中学校におけるICT活用学習の充実



のだみらい
栗原

基起
議員



宿泊税について

問

県が宿泊税定額150円を導入予定だが、市の見解及び市への影響や課題、交付金等について伺う。

答

宿泊税が導入された場合、宿泊料金上昇の可能性があり、宿泊客が宿泊料金の安い他の地域を選ぶ要因となるのではないかと考える。また、宿泊施設での宿泊税徴収の手続や管理コストなど事務負担の増加も課題と考えられ、宿泊税導入による相応の効果があるか懸念がある。

令和7年1月に県が発表した宿泊税の導入に向けた資料によると、市町村への交付金は税収の25%を市町村へ配分することとしており、そのうち80%を宿泊者数、20%を旅行者数で配分した場合の野田市の交付金の試算額は536万3千円となっている。

他の質問

・情報発信の戦略



日本共産党野田市議団
長 勝則
議員



コミュニティバスの対策と

交通不便地域対策について

問 令和7年度のコミュニティバス等対策審議会での審議内容について伺う。

答 まめバスは、令和6年10月1日に新たな運行計画を基に運行を開始した。当該計画は、従前のルートを基本とし、ダイヤの組換えによる利便性の向上を主として再編したものとなっている。

7年度のコミュニティバス等対策審議会では、ルートの再編、ダイヤ改正、運賃の改定に加え、交通不便地域の実情に合った代替交通について議論する。

なお、まめバスの運賃改定やデマンド交通等の導入に当たっては、道路運送法の規定に従い、新たに地域公共交通会議等の協議体を設置したい。

他の質問

- ・本市の下水道施設の状況と今後の対応
- ・建設労働者の支援策と充実



民主連合
滝本 恵一
議員



尾崎金島地区かなしまの整備状況について

地区一帯の整備計画について伺う。

問

当該地区では、希少種をはじめ多種多様な生き物が湿地や湧水、水路に生息している状況を踏まえ、水路整備等による生き物への影響調査を令和7年度から実施する予定である。

答

影響調査の内容として、植生や湧水などの現況調査を実施し、希少種が生息するために必要な環境箇所を選定する。調査結果については、生物多様性の戦略市民会議の中で意見をいただき、検証したいと考えている。

また、影響調査と併せて、この地域の自然環境を保全していくためのビオトープ整備計画を策定していきたいと考えており、市民会議における意見や地権者の意向を踏まえながら、整備計画の目標や基本方針を設定したい。

他の質問

- ・行政文書の取扱い
- ・パークゴルフ場の整備等

会議録をご覧ください

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は紙面の都合により要約してありますので、詳しい内容は会議録をご覧ください。会議録は次の場所で閲覧することができ、6月初旬に配置する予定です。

- ◇市内各図書館
- ◇議会資料室(委員会会議録も含む)
- ◇情報公開コーナー(市役所総務課内)



会議録及び委員会の会議録は、市議会ホームページでもご覧いただけますのでご利用ください。

議案等の審議結果

3月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果
認 第 1 号	専決処分の承認(令和6年度一般会計補正予算(第9号))	承認・全会一致
議案第1号	令和7年度一般会計予算	可決・賛成多数
議案第2号	令和7年度国民健康保険特別会計予算	可決・賛成多数
議案第3号	令和7年度介護保険特別会計予算	可決・賛成多数
議案第4号	令和7年度後期高齢者医療特別会計予算	可決・賛成多数
議案第5号	令和7年度水道事業会計予算	可決・賛成多数
議案第6号	令和7年度下水道事業会計予算	可決・全会一致
議案第7号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	可決・全会一致
議案第8号	行政組織条例の一部改正	可決・全会一致
議案第9号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	可決・全会一致
議案第10号	公務員等の旅費に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第11号	職員の退職手当に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第12号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第13号	手数料条例の一部改正	可決・全会一致
議案第14号	国民健康保険条例の一部改正	可決・賛成多数
議案第15号	犯罪被害者等支援条例の制定	可決・全会一致
議案第16号	移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正	可決・全会一致
議案第17号	老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第18号	地域包括支援センターの設置者が包括的支援事業を実施するために必要な基準を定める条例の一部改正	可決・全会一致
議案第19号	留守家庭学童保育所設置条例の一部改正	可決・全会一致
議案第20号	児童福祉審議会条例の一部改正	可決・全会一致
議案第21号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決・全会一致
議案第22号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決・全会一致
議案第23号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決・全会一致
議案第24号	ことば相談室の設置及び管理に関する条例の廃止	可決・全会一致
議案第25号	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第26号	景観条例の制定	可決・全会一致
議案第27号	水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第28号	春風館道場の指定管理者の指定	可決・賛成多数
議案第29号	市立あおい空の指定管理者の指定	可決・賛成多数
議案第30号	市立花輪保育所の指定管理者の指定	可決・賛成多数
議案第31号	小中学校教師用教科書及び指導書の購入	可決・全会一致
議案第32号	道路線の認定	可決・全会一致
議案第33号	道路線の廃止	可決・全会一致
議案第34号	令和6年度一般会計補正予算(第10号)	可決・全会一致
議案第35号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決・全会一致
議案第36号	令和6年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決・全会一致
議案第37号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決・賛成多数
議案第38号	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第39号	令和6年度一般会計補正予算(第11号)	可決・全会一致
議案第40号	令和7年度一般会計補正予算(第1号)	可決・賛成多数
議案第41号	副市長の選任(今村繁氏)	同意・賛成多数
議案第42号	教育委員会委員の任命(吉田富昇氏)	同意・全会一致

発議番号	件名	審議結果
発議第1号	市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	可決・全会一致
発議第2号	市議会委員会条例の一部改正	可決・全会一致

請願・陳情番号	件名	審議結果
請願第1号	野田市における土曜授業中止を求める請願	不採択・賛成少数
陳情第1号	国民健康保険料の引上げをやめ、18歳未満の均等割保険料の免除を求める陳情	みなし不採択(※)

※みなし不採択

同一会期中に、請願や陳情と相反する議案が可決されたため、不採択とみなし処理すること。

市議会ホームページには、審議結果のうち賛否が分かれたものについての議員別表決結果などを詳しく掲載しております。

<https://www.city.noda.chiba.jp/gikai/1028233/1028235/1045495.html>



6月定例会のお知らせ

6月9日 月曜日
開会の予定です

日程は6月3日（火）に開催予定の議会運営委員会で正式に決定します。

定例会の日程は市議会ホームページでもご覧いただけます。

開 会

6月 9日(月)

17日(火)

18日(水)

19日(木)

20日(金)

23日(月)

24日(火)

27日(金)

閉 会

会期の決定、議案上程、市政一般報告

提案理由説明、議案質疑、委員会付託

一般質問

常任委員会（議案等の審査）

委員長報告、質疑、討論、採決

編集後記

やっと暖かくなり春が来たな、と思ったら急に寒さが戻るなど、三寒四温が続いています。また、花粉症等もあり、体調管理が大変だったのでないでしょうか。これからの暑い時期に向け、食事や睡眠をしっかり取りましましょう。

昨年から広報委員として、のだ市議会だよりの作成・編集に取り組んでまいりました。

今後も、より身近で誰にでもわかりやすい市議会だよりをお届けしてまいります。

広報委員 桜田 康則

スマートフォンやパソコンで

のだ市議会だよりが ご覧になれます

無料アプリ「カタログポケット (Catalog Pocket)」を使って、のだ市議会だよりが、スマートフォンやタブレット、パソコンでご覧いただくことができるようになりました。

ダウンロードは
こちらから



注：アプリのダウンロードは無料ですが、情報の受信には通信料が発生しますので、ご注意ください。アプリをインストールしなくても、ウェブサイトで閲覧は可能です。

相続の手続きを丸ごとお引き受けいたします！

亡くなった後の手続きは
こんなに大変です！！

1. 親が亡くなった後、最初に迎えるピンチ！
預金口座の凍結を解除するには！
2. 申告ミスすると「追加金」！
知らなかったでは済まされない相続税の申告
3. 一つでも忘れると、あとが大変。
役所に出す書類、役所でもらう書類

このような煩雑な相続のお手続きは、
私たち専門家にお任せください！

こんなお悩みはございませんか？

平日は仕事で、
役所に行く
時間がない

相続が発生した
が、何をしたら
よいかわからない

専門家に任せるに
してもどの専門家に
任せてよいのかわからない

高齢のため自分で
手続きを進めるのは
体力的にも限界が・・・

一般社団法人 相続手続支援機構

TEL 0120-888-381

税理士法人 永光パートナーズ



個別無料相談は
こちらを読み込んで
お申し込みください

のだ市議会
だよりの

No.166 令和7年5月1日発行／野田市議会広報委員会
〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1 TEL.04-7125-1111

野田市議会ホームページ <https://www.city.noda.chiba.jp/gikai/index.html>

野田市議会

検索



UD FONT
by MORISAWA

高齢者や視覚の弱い方でも誤読の少ないユニバーサルデザインフォントを採用しています。